

8

No.520
AUG.2014

茨城経協

Ibaraki Employers' Association

<http://www.ikk.or.jp> Email info@ikk.or.jp

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 政策委員会を開催
高卒者の就職の場の確保、障害者および中高年齢者雇用確保に関する要請
- 02 委員会報告
経営教育／産業政策
- 04 支部だより
水戸／土浦・石岡・つくば／取手・龍ヶ崎
- 05 茨城産業会議が第1回拡大総会開く
- 06 出向者着任のご報告
- 07 『会員増強運動2014』の状況 850社達成、目標まで19社
- 09 新入会員紹介
- 11 大学への寄付講座
「旅行業務と仕事の心得」
トップツアー株式会社水戸支店 支店長 久米康一氏
「成果を創る4つのステップ」
増山会計事務所 税理士 増山英和氏
「ボールorゴール ～マスコミは鳥の目で～」
株式会社茨城放送 代表取締役社長 北島重司氏
- 14 県内NPO情報Vol.166<横田能洋>
「職場で『ズレやすい人』の活かし方」
- 15 数に込められた思いと意味⑤<葛田一雄>
「これぞ『和』」
- 17 セミナー・事業等のご案内

本年度重点事業の今後の取組みを検討

7月24日(木)、第1回政策委員会(正副会長、各支部長、各委員長等協会主要役員)が、水戸市三の丸・水戸京成ホテルにて開催され、会員増強活動や平成26年度重点事業の進捗状況と取り組み方針について意見交換が行われた。



鬼澤邦夫会長((株)常陽銀行代表取締役会長)が開会にあたり「会員増強については政策委員の皆様のご協力で849社となっている、更なる協力をお願いしたい」との挨拶があった。

佐藤修二副会長((株)日立ライフ取締役社長)が

議長に就き、各事業分野についての報告・協議がなされた。

まず、経営者懇談会の持ち方についての計画案の検討、会員増強活動についての報告がなされた。本年度に入り、43社の新入会員、11社の退会で32社増加し849社になっており、当初の目標の870社まで21社となっていることが報告された。事務局より今後も、役員・幹事・委員の方々から紹介いただいた企業を訪問し、更なる増加を目指す旨が報告された。

その他、(1)組織関係活動(会員満足度調査案)、(2)産業政策関係活動(県政要望活動について)、(3)経営教育関係活動(新規研修事業)、(4)環境関係活動(委員間の情報交換)、(5)労働関係活動(若手担当者勉強会)、(6)地域関係活動(新たな地域貢献活動調査)、(7)科学技術関係(知財に関する新規事業)、(8)青年経営研究会(本年度総会報告)についての報告と意見交換がなされた。その後、委員間で自社・業界・地域の状況等について報告、情報交換がなされた。

高卒者の就職の場の確保、障害者および中高年齢者雇用確保に関する要請

6月24日、小野寺俊県教育長、斎田陽介県商工労働部長、大森雅文茨城労働局職業安定部長から当協会を含む県内経済4団体に対して、求人要請がございました。教育長からは、高校生の就職内定率向上のため、来春の高校卒者採用枠の拡大の要請。商工労働部長、職業安定部長からは、「大卒等未就職者人材育成事業」(大卒等未就職者への正規雇用化支援)への協力、障害者・中高年齢者の雇用確保の要請がございました。会員の皆様におかれましては、人材採用にあたり趣旨ご理解の上、ご協力をお願いします。(以下、障害者および高齢者雇用に関する要請)

平成25年6月1日現在雇用状況報告集計結果において、県内民間企業における障害者の実雇用率は、1.66%で47都道府県のうち全国ワースト3位、また、高齢者雇用安定法に基づく雇用確保措置を導入している企業の割合は、79.2%で全国最下位という極めて憂慮される状況にあります。

つきましては、貴会におかれましては、本県の障害者及び高齢者に係る雇用確保の状況等についてご理解を賜り、次に掲げる項目につきまして、会員団体、傘下企業等に対する、特段のご指導、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

- 1 障害者の法定雇用率の引き上げに対応した障害者の雇用機会の一層の拡大を図るとともに、障害者の雇用の維持・確保並びに職場定着の促進に努めること。
- 2 高齢者の雇用機会の一層の拡大を図るとともに、高齢者雇用安定法に基づく雇用確保措置の導入により高齢者の積極的な雇用確保に努めること。

平成26年6月24日

茨城県経営者協会会長 鬼澤邦夫 殿

茨城労働局職業安定部長 大森 雅文
茨城県商工労働部長 斎田 陽介

経営教育委員会

国内企業視察会を開催

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行 代表取締役副頭取)の中小企業部会(部長 塚田長剛氏 (株)古河第一自動車学校代表取締役社長)は、7月18日(金)～19日(土)にわたり、「独創性の高い企業に学ぶ～感動を贈るメガネ店から世界最大級の工場など4社を視察～」をテーマに、国内企業視察会を開催した。参加者は事務局を合わせ13名であった。

「独創性の高い企業に学ぶ」本視察会では、①王子製紙(株) 苫小牧工場、②いすゞエンジン製造北海道(株)、③(株)富士メガネ、④(有)タカシマファームの4社を訪問した。

視察会最初の訪問先は、約100年前の1910年に創業の王子製紙苫小牧工場。同工場は、世界有数の新聞用紙生産工場として、1964年稼働のN-1から1998年稼働のN-6までの6台の新聞用紙マシンが1日に1,300万世帯分もの用紙をつくっている。最新の生産マシン



王子製紙苫小牧工場

を導入する一方、創業時より苫小牧の自然を活かし発電を続けている千歳第一水力発電所や、原材料を製造設備まで運ぶ送木水路を現在まで活用するなど、最新鋭の技術と自然の恩恵をありのまま活用し続ける独創性を学んだ。

次に、1984年にいすゞ自動車北海道工場として操業を開始したいすゞエンジン製造北海道では、小型トラック用・コンポーネント供給用のディーゼルエンジン用のアルミ鋳造部品類の製造現場を視察した。技術革新のスピードが速い自動車産業において、常に変化に対応するためのいすゞ独自の生産性向上活動について学んだ。



いすゞエンジン製造北海道にて集合写真

視察2日目、285名の認定眼鏡士を擁し、正しい視力チェックからメガネ製作、適正なフィッティング、修理、調整などアフターケアまでトータルサポートを掲げる富士メガネを訪問した。長引く消費不況と眼鏡業界の過度な廉売動向へ対応するために、「専門性」を深めた「オプト

メトリーサービス」により積極的な顧客創造と、個人に適した眼鏡の提案に不可欠な「情報」を分析、共有化するためのインフラ整備の取り組みなど、勝ち残る経営戦略について学んだ。



富士メガネ・金井社長からご講演頂く

最後の視察先は、全ての田において殺虫殺菌剤を使わないこだわり農法と、プライベートブランド「田園交響楽」を販売するタカシマファーム。北海道で多く栽培されている米品種「ゆめぴりか」、その品種の優位性を更に高めるため、手間の掛かる独自の栽培法をあえて取り入れ、同社オリジナルブランドを確立させ、一般的な価格よりも一段高い値で取引されるよう努力する力強い姿勢を学んだ。



タカシマファームにて

経営教育委員会

アイエスエフネットグループに学び、自社に活かす
第13期マネジメントマスターコースが開講

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行 代表取締役副頭取)は7月15日(火)、水戸プラザホテルにて、第13期マネジメントマスターコースを開催した。

本年度は、「アイエスエフネットグループに学び、自社に活かす」と題し、9月には、それまでに学んだ事柄を検証する現地視察でアイエスエフネットグループを訪問する4回シリーズとなっている。

初回は、「素晴らしい企業に学ぶ」をテーマに、人と経営研究所所長の久保寛司氏から、アイエスエフネットグループをはじめ、高い志のもと、組織の活性化を図る全国の企業事例が紹介され、参加者は優れた組織の特徴や組織を活性化するための行動などについて、ディスカッションを行った。

アンケートでは、「リーダーとしてあるべき心構えや言葉の発し方について学べた」、「認め

るということの重要性、難しさについて気づきました」「気持ち明るくなるセミナーでした」など大変好評だった。

本コースは全4回となっており、第3講以降の講義に関しては、現在申込み受け付け中である。



経営教育委員会

第5回マネジメント力向上研修を開催

経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行 代表取締役副頭取)は7月11日(金)、7月17日(木)、7月24日(木)、ホテルレイクビュー水戸において第5回マネジメント力向上研修を3回シリーズで開催した。



講師には、第1回の同研修から指導いただいている、日本産業訓練協会研修部長の府川亮一氏を迎え、監督者、職場リーダーの基本教育であるTWIの4技能の1つであるJR(人への接し方)に基づき、部下の協力を得て成果を挙げるための手順と問題を未然に防ぐ、問題が起きた時の処理についてシリーズで事例を中心に学んだ。

内容は、実際に参加者の現場での人に関するトラブルが取上げられ、他の参加者からの助言

で解決のヒントを探り、経験豊富な府川講師からのアドバイスをいただく具体的な進め方で行われた。

参加者へのアンケートでは、「部下に対する思いやりが足りなかった点を実感した」「分かっていたつもりでいた事が再認識できた。感情に流されずに指導していきたい」「傾聴を実際に行ったところ、部下が笑顔で話しかけるようになった」などの声が寄せられた。

産業政策委員会

第1回産業政策委員会を開催

産業政策委員会(委員長 深澤正勝氏 日立セメント(株)取締役専務執行役員)は、7月11日(金)、経営者協会会議室において、第1回産業政策委員会を開催した。

開催にあたり、深澤委員長より、「本日は、今年度の県政要望案について協議を行う。今年度は県政要望の提出時期を早める為、スケジュールも前倒して

対応していくので、皆様にはご負担をおかけするが、これまでの経験より忌憚のない意見をお願いしたい。」と挨拶があった。

議事に移り、平成26年度のアンケート調査結果報告では、回答率が35.3%と過去最高を記録したことが事務局より報告された。続いて、平成26年度県政要望案について協議がなされ、出席者からは様々な指摘、

意見がだされた。要望書は、7月24日の政策委員会の承認を経て、県に提出される。



水戸地区支部

茨城県警察本部長との懇談会を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店代表取締役社長)は、7月16日(水)、水戸プラザホテルにおいて、大平修茨城県警察本部長をお招きし、行政懇談会を開催、会員・非会員含め57名が参加した。

当日は西村支部長の挨拶の後、大平本部長より、「茨城県内の治安情勢と諸対策」と題し、①県内の犯罪の特徴と対策②人身安全対策③ニセ電話詐欺の現状と対策④暴力団に不当な利益

を得させないために⑤交通事故の現状と対策についてご講演いただいた。質疑応答では、参加者から講演内容に対する意見や質問、自社での防犯上の悩みなどが出され、大平本部長より1つ1つ丁寧にご回答を頂戴し、参加者からは、「県内の犯罪発生率が高いことに驚いた」、「茨城の姿を知ることができた」などの声が寄せられた。

懇談終了後には、交流会を開催し、参加者の親睦を深め、散会した。



土浦・石岡・つくば地区支部

26年度の支部活動の具体化について協議

土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 有馬幸男氏 日立建機(株)執行役専務兼取締役)は7月8日(火)、日立建機土浦工



場において本年度第1回役員幹事会(幹事長 内田勉氏 (株)カスミ常勤監査役)を開催した。

はじめに、有馬支部長が「4月に徳川前支部長の後を引き継ぎ、支部長に就任致しました。役員幹事のみなさまにおかれましては、前支部同様、支部運営につきましてご協力をお願いしたい。本日は本年度支部活動の具体化についてご意見を頂戴し

たい」と挨拶した。

次に、①茨城経協平成26年度事業活動計画ならびに「2014会員増強運動」について、②平成26年度支部活動計画について、報告協議を行った。

支部活動の中で、特に行政懇談会については、企業経営において取り組みが急務となっている女性活動について、県幹部を交え懇談することが決まった。

取手・龍ヶ崎地区支部

平成26年度第1回役員幹事会を開催

取手・龍ヶ崎地区支部(支部長 小早川忠氏 キリンビール(株)取手工場長)は、7月10日(木)、キリンビール・取手工場において、平成26年度第1回役員幹事会(幹事長 友池泰介氏 日本メクトロン(株)業務部長)を開催した。



始めに、小早川支部長が挨拶をし、その後、本年度から新に幹事長に就任した友池幹事長の進

行のもと、主に本年度の支部活動計画(案)について協議検討した。

本年度の支部活動計画では、

先進的な経営や注目をされている施設を見学する「合同視察会(ヤマトHDとJALの見学)」の他、先進的な経営を学ぶ講演会、行政施策の確認と産業界の意思発信をする首長との懇談会などを実施していくことを確認した。

役員幹事会後には懇親会を併設し、役員幹事会社から自社・業界・地域の状況等について情報交換を行い散会した。

～県企画部長、商工労働部長が講演、重点施策について意見交換を行う～

茨城産業会議(鬼澤邦夫議長)は、7月14日(月)、水戸市・水戸京成ホテルで本年度第1回目の総会を開催した。

議案審議では、平成25年度の事業活動報告及び収支決算、平成27年度県政要望の取りまとめスケジュール、平成26年度の事業方針と収支予算案が承認された。

茨城県政への提言・要望事項の取りまとめを行う企画調整委員会については、委員長に高橋日出男氏(当協会副会長)、副委員長に中川喜久治氏(商工会議所連合会副会長)が就任することが報告された。

続いて、県企画部長の野口通氏より「企画部の重点施策について」、県商工労働部長の齋田陽介氏より「商工労働部の重点施策について」と題して



説明がなされた。

説明後には、第74回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部から経済4団体に対する雇用要請がなされ、対策本部長の山口やちる茨城県副知事より各団体に要請書が手渡された。



茨城産業会議は、茨城県経営者協会、茨城県商工会議所連合会(会長:和田祐之介氏)、茨城県商工会連合会(会長:外山崇行氏)、茨城県中小企業団体中央会(会長:幡谷祐一氏)の4団体で構成。常陽地域研究センターが協力団体として参加し、産業政策やインフラ整備、地域問題など重要事項について経済界の意見を集約し、提言をしております。

事務局:茨城県経営者協会内(加藤、須藤、高田)
TEL029-221-5301 FAX029-224-1109

茨城県経営者協会
会長 鬼澤邦夫殿

謹啓 時下益々御清祥のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、本県スポーツの振興につきましましては、格段の御協力と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本県では、平成23年第1回定例県議会において、橋本知事が平成31年第74回国民体育大会の本県開催招致を表明し、県議会で決議されました。それを受けて、平成24年5月28日に、橋本知事を会長とする第74回国民体育大会茨城県準備委員会設立総会・第1回総会並びに第1回常任委員会が開催されました。総会の中で、第74回国民体育大会開催基本方針や実施目標が承認され、目標の1つに「天皇杯・皇后杯獲得を目指して競技力の向上を図る」ことが明記されました。その目標を達成するため、県では平成25年度に教育庁保健体育課内にスポーツ推進室競技力向上対策班を設けて、組織体制の強化を図り、競技力向上に努めております。

現在、本県の競技力向上につきましましては、平成24年8月に茨城県競技力向上対策本部を設置し、翌年3月には茨城県競技力向上対策基本計画が策定され、具体的な事業として、「元気いばらき選手育成強化事業」を毎年拡充しながら選手強化を図っております。

5年後に開催されます第74回国民体育大会で天皇杯・皇后杯を獲得するには、茨城県体育協会・各競技団体・学校体育関係団体との連携・強化を図るとともに、地元の大学や企業にも御協力をいただき、オール茨城で臨むことで目標を達成することができるかと確信しております。

特に、国体成年種別の成年層の強化を図るに当たっては、本県出身の優秀な選手や地元大学の全国レベルの実力を有する選手を獲得し、本県選手として活躍してくれることが必要不可欠であり、そのような選手の就職先についても支援していくことが求められます。

県といたしましても、天皇杯・皇后杯を獲得し、第74回国民体育大会を成功裏に終了させることが、東日本大震災からの力強い復興と茨城県の底力を全国にアピールできるものでもありと考えております。

貴団体におかれましても、社会人選手の雇用の促進につきまして、格段の御協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成26年7月14日

第74回国民体育大会
茨城県競技力向上対策本部長
茨城県副知事 山口 やちる



出向者着任のご報告

8月4日付で(株)常陽銀行様より須藤文博氏を協会事務局にご派遣頂きました。平成28年7月末までの2年間協会運営にご尽力頂きます。



須藤文博氏

8月4日付で、(株)常陽銀行より協会事務局に派遣されました須藤です。協会運営の担当業務は、総務委員会、労働企画委員会、地域関係委員会、科学技術特別委員会および県北地区支部、土浦・石岡・つくば地区支部、県西地区支部となります。微力ではありますが、地域の為、会員の皆様のお役に立てますよう頑張りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

心と心のつながりで価値・創造・提案企業を目指します

機械・工具・伝動・管材

 **小川産業株式会社**

<http://www.osc-web.co.jp/>

【OSショップ】YAHOO店・楽天市場店

■本社 北茨城市機原町本町3-1-8 ■つくば出張所 つくば市北条4679-1
0293-42-1200 029-850-7500



【安心】の東栄グループ 機械・資材・工具・溶接機械

東栄機工株式会社

<http://www.toueikikou.co.jp/>

本社 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-18

TEL(0299)96-6023(代) FAX(0299)96-5630

ひたちなか営業所 〒312-0004 茨城県ひたちなか市長砂字塙123-2

TEL(029)219-5577(代) FAX(029)219-5588

東栄グループ

工業用ファスナー・ボルト

産業機械レンタル・修理

プロスパー洗洋株式会社 リペア・カサハラ株式会社
<http://www.neji-pros.jp/>

〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-19 〒314-0116 茨城県神栖市奥野谷6129-16
TEL(0299)94-3366 FAX(0299)94-3666 TEL(0299)97-1050 FAX(0299)97-2776



心を込めて、信頼できるカーライフ

茨城トヨタ

SAI 

サイ



茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



TOYOTA

『会員増強運動2014』の状況

850社達成、目標まで19社

1. 7月の状況

7月は、支部役員・幹事の皆様、役員・委員会委員の皆様からのご紹介もあり、入会5社、退会1社で前月比プラス4社となり、前年度比34社増、年度目標の870社まで19社となりました。

会員の皆様のご協力に感謝いたします。

2. 『会員増強運動2014』について。

『2014会員増強運動』の推進状況

1. 会員の状況（7月31日現在）

支部 項目	県北	日立	常陸・ 那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・ 坂東	鹿行	合計	
25年度末 会員数	38	85	73	243	118	54	62	21	93	817	
入会数		5	2	10	6	9	6	2	5	45	
退会数	1	2	1	2		1	3		1	11	
会員数	37	88	74	251	124	62	65	53	97	851	
										前年度比	+ 34

平成26年度目標

870

目標比

▲ 19

平成26年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の初年度にあたります。

今後ますます、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、また「数は力なり」でこれまで以上に行政等に対する政策提言力の強化を図るためにも、平成26年度も引続き『会員増強運動2014』に取り組んでおります。

今年度は、本部役員等に限らず、幅広くすべての会員の皆様から、お知り合いなどをご紹介いただき、運動を盛り上げてまいります。

つきましては、会員の皆様におかれましては、当協会にご入会いただけそうなお知り合いなどがいらっしゃるいましたら、1社でも結構ですので、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※FAXのほか必要事項をご記載いただければ電子メールでも結構です。

メールアドレス：info@ikk.or.jp

なお、「会員増強運動2014」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、毎月会員の皆様へお知らせしてまいります。ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【会員増強運動2014】 入会见込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
TEL	

“会員増強運動 2014”の入会见込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会见込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

--

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

新入会員紹介

有限会社今井商店

■代表取締役 今井 豊



Date 所在地／桜川市高久 486
T E L 0296-58-7305
F A X 0296-58-5706
業 種／食品加工
従業員／5名

Appeal point

弊社は桜川市において青果物の生産、加工、流通に取り組んでおります。食の安全性やTPP、異常気象等が問題視される昨今ですが、安心安全を第一とし茨城県を中心とした安定的な供給、契約を目指し、県内の6次産業モデルとなれるよう邁進いたします。

エスプランニング株式会社

■代表取締役 柴崎 勝敏



Date 所在地／取手市新町 3-2-8
T E L 0297-84-6531
F A X 0297-84-6571
業 種／LED照明、太陽光発電システム、水素燃料電池等
従業員／2名

Appeal point

当社は、LED照明の販売・設置、エコ空調システム、水素燃料電池販売、太陽光発電設備販売・設置、電気工事業を営んでおります。

LED照明の製品ラインナップは関東一と自負しております。特に、スポーツ施設や工場倉庫のLEDは実績も多くあります。

既存の灯具を活用し無駄を省き初期費用を抑え、環境にやさしく、そしてユーザーの立場に立ってご提案させていただいています。

身近な環境問題の解決に取り組み、地域はもちろん国内に於けるエコソリューションプランニングのリーディングカンパニーとして、皆様のご期待に応えられるよう努力してまいります。

大塚セラミックス株式会社

■代表取締役 大塚 喜一郎



Date 所在地／下妻市半谷字原山 482-1
T E L 0296-44-3165
F A X 0296-43-2574
業 種／セラミック製品製造
従業員／40名

Appeal point

私ども大塚セラミックスは昭和34年の設立以来、原料から焼成までの一貫生産を強みとしセラミックの製造に従事してまいりました。

昨今の市場変化の早さ、顧客ニーズの変貌に対応できるよう研究開発に力を入れ、世の中に存在しなかったく新しいセラミックの開発を目指しております。

自動車・電気電子製品・半導体など幅広い分野で活躍するセラミックス、50余年の間で培ってきた技術を駆使し、ユーザー様のご期待に沿えるよう尽力してまいります。

株式会社ササモライフアシスト

■代表取締役 佐々本 良二



Date 所在地／茨城県つくば市東光台 5-4-2
T E L 090-7826-8972
F A X 0467-83-8663 (茅ヶ崎本社)
業 種／メンタルヘルスカウンセリング
& 人事労務コンサルティング
従業員／2名

Appeal point

心理カウンセラー&人事労務コンサルタントとして、中小企業を中心に社員と会社を元気にする企業丸ごとコンサルティングを実践しています。企業において、メンタルヘルスの未然対策に取り組むことが、従業員のうつ対策だけでなく生産性の向上にも効果があることをいち早く提唱し続けています。

学校法人晃陽学園

■理事長 齋藤 行信



Date 所在地／古河市東 1-5-26
T E L 0280-31-7888
F A X 0280-31-4448
業 種／高等学校、専門学校
従業員／100名

Appeal point

本学園は、茨城県内の古河市と牛久市に「医療」と「食」の総合学園として位置しています。栄養士、調理師、製菓衛生師、看護師、救急救命士の国家資格を取得できる学科を併設し、地域に医療と食の若き人材を輩出しています。また、晃陽学園高等学校も併設し、高校卒業と国家資格取得双方を目指しています。今年から日本大学国際関係学部と連携教育の協定を結び、大学へ編入学（進学）し国際教養や語学を学び、海外へ活躍のフィールドを広げています。さらに姉妹校盈科学園では、美容師育成や日本大学生物資源科学部と教育交流協定を結び、若き動物、農業従事者育成に力を入れています。

株式会社ヒューマン・ブレンディ

■代表取締役 田寺 尚子



Date 所在地／水戸市浜田町 414
T E L 029-228-2695
(問い合わせは 09015581198)
F A X 029-228-6798
業 種／人材育成業・産業カウンセラー
従業員／1名

Appeal point

「企業の成長」に欠かすことのできない「個人」の力。企業のビジョンを共有し、個人が「こうありたい」と願う「目標」を明確化し個々の「資源」を分析していきます。自らが「目標達成」に向かい自らが意思決定し潜在能力を最大限に発揮できる「方法」を「あるべき姿」未来に向けて、各企業にあったオリジナル研修のカリキュラムを丁寧なカウンセリングで作成し「人が育つ」職場環境のサポートをして参ります

又、コミュニケーションの入口となる印象形成コーチング・アプローチコーチング、自分自身と向き合い自己理解から他者理解に向けたカウンセリングやストレス耐性UPへ向けたコーチング、タイプ別コーチング、サービス業の覆面調査は100社を超え、現場に合ったコンサルタント等に「企業の成長」のために「個人」の成長を伴走して参ります。

<http://www.facebook.com/HumanBlendy>

ユタカ建設工業株式会社

■代表取締役 石井 登



Date 所在地／水戸市河和田町 3891
T E L 029-309-7266
F A X 029-309-7267
業 種／建設業
従業員／45名

Appeal point

建設業界を取り巻く環境は、刻々と変化し、人材不足をはじめとした克服すべき諸問題が山積しておりますが、弊社では全社員一丸となり日々インフラ建設に励んでおります。弊社は平成17年創業のまだまだ未熟な会社ではありますが、若者の積極雇用と高齢者の継続雇用の両立により、幅広い年齢層の従業員が融和団結し、安心・安定して就労できる会社を目指しております。

今後、皆様のご指導を賜りながら、地域に貢献していけたらと考えておりますので、よろしくお願い致します。

旅行業務と仕事の心得

トップツアー株式会社 水戸支店 支店長 久米 康一氏

当社は旅行業務を中心に、スローガン「お客様満足度100% + α 」を掲げ事業展開しており、今年で創業58年目を迎えました。2008年には「東急観光」から現在の「トップツアー」へと社名を変更、また昨年8月には“東京スカイツリー”の運営で知られる東武グループの一員となりました。

旅行業務と言っても、企業をクライアントとした慰安・褒賞・招待旅行を取扱う一般事業、学校など教育機関を中心に修学旅行や林間学校を取扱う教育事業、国際会議や国際文化交流を支援する国際事業、またお客様の視察や旅行と一緒に同行し運営をサポートする添乗業務のほか、最近では、会議の“Meeting”、視察の“Inspection”、大会の“Convention”、展示会の“Exhibition”のそれぞれの頭文字をとった“MICE事業(非観光型旅行ビジネス)”や、訪日外国人を誘致する“インバウンド事業”も増えています。

マスコミ報道でもご承知かと思いますが、昨年は1千万人の外国人が日本を訪れました。日本政府は2020年の東京オリンピック迄に2千万人、2030年迄



に3千万人の訪日外国人数を目標としています。日本の歴史や食文化、各地の四季の彩りは、日本で暮らす我々以上に外国の方々に魅力的に映るのです。

全ての業務に共通する大切なことは“確認作業”です。“予定通りにバスが来ない”“予約した部屋が一つ足りない”等のトラブルは事前に確認しておけば回避できますが、確認作業を怠ったがために、それまでお客様と築き上げられてきた信頼関係が失われてしまう可能性もでてくるのです。

また、自分の主観だけで物事

を判断する方はこの仕事に向いていません。逆にお客様の声をよく聴き、一緒になってプランを組み立てることができる人、お客様の喜び=自分の喜びと捉えることができる人は向いています。

時代は絶えず変化しており、将来を見据えることは難しいと思いますが、皆さんには今だからこそチャレンジできることが沢山あることに気付いていただきたいのです。今一度自らを見つめ直し、これまで以上に充実した学生生活が送れるよう心より応援しています。

成果を創る4つのステップ「学ぶ⇒気づく⇒動く⇒続ける」

増山会計事務所 税理士 増山 英和氏

当事務所は今年で設立40年目を迎えました。税理士、経営・資産コンサルティング、ファイナンシャルプランニング、行政書士を主な業務とし、本年度のスローガン“私たちは、会社を護るビジネスドクターです！”を掲げ、日々の業務に取り組んでいます。

一般的な税理士事務所と当事務所の違いは“経営コンサル（経営助言）”を行っている点です。少しでもお客様のお役に立てればとの思いから、様々な機能や役割を取り入れていった結果、現在の経営スタイルになりました。お客様は県内を中心に約500社いらっしゃいます。お蔭様で、私自身も500通りの経営にふれる機会を頂き、日々お客様から沢山の気づきを頂いています。

皆さんには、学ぶ⇒気づく⇒動く⇒続ける、このサイクルを是非継続して頂きたいのです。知識がないと知恵は生まれません。勉強に励み、知識を蓄え、多くの気づきを得ることで、素晴らしい知恵が生みだされます。そして具体的な行動を起こして下さい。“できる人とできない人”“業績の良い会社と悪い会社”の決定的な違いは、実



際に動いたか（動いているか）なのです。

私が一緒に働きたいと思うのはどんな方だと思いますか？私が常々大切だと考えているのは、その方がもつ“やる気”と“人格”です。いくら経歴が立派であっても“上から目線”の方はお客様から相手にされません。私共の仕事は、お客様に受け入れられて、お客様から評価されてこそ成り立つ仕事です。不器用ではあっても、相手の立場に立つことができ、相手の話を一生懸命に聴くことができる方を求めています。

時代は変化していきます。国

の施策においても、皆さんの身近なところでは“学生起業家”を支援する施策がでてきています。平等にそして公平に分配されてきた従来の支援から、“やる気のある方”を積極的にサポートする、ある意味割り切った施策が展開される時代へと移り変わっていくでしょう。

本質が問われる時代です。“自信”とは自分を信じると書きます。自分を信じ、努力を続けることで、早い遅いの個人差はあれども、必ず成果が顕れます。

皆さんの益々のご活躍を期待しています。

「ボール or ゴール ～マスコミは鳥の目で～」

株式会社茨城放送 代表取締役社長 北島 重司氏

私は2012年6月に茨城放送の社長となったが、その前は朝日新聞に長く在籍してきた。その過程で、地方記者、科学記者、社会部記者、特派員としての経験を得てきたので、今日は、それらについて話したい。

はじめの経歴は地方記者から始まった。地方記者は現場が教師である。取材対象に夜討ち朝駆けをするが、これはいわば“化かし合い”のような面がある。すなわち、警察などの公務員は守秘義務があるためなかなか情報を教えてくれないが、ヒントは出してくれる場合がある。それを自分で汲み取らないといけない。また“現場百回”といわれるほど、現場に通うことで見えてくることもある。さらに、“本丸より外堀”ともいわれる。たとえば検察官は何も教えてくれないので地検会計課長などに接触すると、ヒントをもらえることもある。また、1986年に「死んだふり解散」についてあるルートから得た特ダネがあったのだが、政治部の「解散なし」との判断で出さずにいたところ、他紙にスクープされてしまった。また、リクルート事件では、逆に他の誰も書かないことを書いたこともある。これもある意味特ダネである。

社会部記者としては、特ダネ、調査報道、企画報道の3種類の記事を作成する。いずれもタイプが異なる。特ダネは他社に先駆けて得たニュースを狙うものだが、調査報道は地道に調べていく報道であり、企画報道は、従来とは切り口



を変えて分析する報道である。企画報道の例としては、1994年の中華航空事故の報道がある。この事故は、機械と人間のインターフェースに関わる事故であった。つまり、機械は着率モードであったが、副機長は着率復行モードを解除できなかったため、強制着陸を行おうとして失速した。この事故は、便利になった機械を人間が使いこなせていないことによって起きた事故である。

特派員を経験すると、特派員は鳥の目であるということが分かってくる。たとえば、アメリカ駐在中、ある米国の新聞記者が、「日本のマスコミは草サッカー」と評したことがある。つまり、日本のマスコミは特ダネ競争ばかりで現象しか追っていない。しかし、本来マスコミは、これからどうしていきたいのかを投げかけるべきである、ということである。

これが「目指すのはボールなのか、ゴールなのか」という講演テー

マにした理由だ。また、日本のマスコミは金太郎飴のようにどこも同じ書き方をしたり、過剰報道を行う場合もある。原発問題については、アメリカでは最も安くても高いのが原発である、という認識がある。また、アメリカの大統領には弁護士が多い。

最後に、私に関心を持っているのは「新聞とラジオ」である。新聞は遅いが深いメディアであり、現象を追うよりもその位置づけを分析するという役割がある。一方、ラジオは速報性、利便性がある。これら2つの共通点は、想像力をかき立てるメディアであるということだ。“イマジジン”は人のもつ優れた能力である。活字・音声メディアの復権は、この想像力にある。現在、朝日新聞では夏目漱石の「こゝろ」を連載しているが、大変好評である。

ぜひ、皆さんもマスコミを志望して行ってほしい。

今回は、障害者雇用に関する県内の新たな取り組みを紹介します。つくばのNPOが中心となって、近年注目されるようになった「発達障害」の方々企業が働きやすい状況をつくるための円卓会議が数回開催されています。今回はこのプロジェクトを主宰している方に寄稿いただいた文を紹介します。

みなさんの職場に、指示の飲み込みが遅い、段取りができない、同時に複数の作業がこなせない、臨機応変の対応ができない、場の空気が読めない……といった社員はいませんか？ 職場で「ズレやすい」彼らは、もしかしたら、発達障害、またはその傾向を有する人なのかもしれません。

「課題解決型の学びの場」であるつくば市民大学を運営するユニベルシタスつくばでは、テーマの一つとして、行政や各種支援機関、民間企業やNPOなどとの協働で「発達障害のある若年層の就労支援」に取り組んでいます。本年7月、『『空気を読め！』』と言う前に……職場で『ズレやすい人』の活かしかた」と題した講座を開催したところ、県内企業の総務・人事担当の方々が60名も集まってくださり、この問題に対する関心の高さが改めて浮き彫りとな

職場で「ズレやすい人」の活かしかた

茨城NPOセンター・commons 常務理事 横田 能洋

りました。

この講座では、発達障害者を多数雇用している企業、発達障害に特化した職業訓練を行っている企業、職場定着をサポートしている支援機関それぞれからゲストを招き、働き方や環境の整え方、対応の仕方の工夫によって、当事者と企業側双方にメリットをもたらすことに成功している事例を紹介いただきました。

発達障害、またはその傾向を有する人は、知的レベルは標準範囲内でありながら、発達に凸凹があります。いわゆる定型発達の人と比較すると、苦手な部分がある半面、得意な部分も持ち合わせているという特性があります。聴覚情報の処理力、段取り力、柔軟性や適応力という点では困難を抱えることが多いのですが、視覚情報の処理力、集中力や慎重さ、帰属意識の高さなどに優れていることが多いのです。

したがって、企画調整・営業販売といった業務は苦手ですが、管理・保守などの業務や、法務・経理などの事務補助、そしてIT関連の後工程では強みを発揮します。

また、「口頭ではなく、マニュアルや手順書などを活用して指示すること」や、「都度の判断が不要となるよう、標準化を進めること」などの取り組みも非常に有効です。講座では、細かな事に不安感を抱きやすく質疑が多い、臨機応変な対応も苦手——といった悩みを抱え、転職

を繰り返していた30代の女性が、「作業の時間軸でのマニュアル化」「手が空いた時に行う作業の優先順位づけ」「倉庫内の収納箇所の明確化」などを行った結果、高いパフォーマンスを発揮するようになった事例も紹介されました。

マニュアル化や標準化は、結果として「すべての人にとって働きやすい環境」となり、職場の生産性を高めることとなります。「人」を変えようとするのではなく、「環境」を変えること。これこそ、当事者と周囲の双方にメリットをもたらす秘訣です。

いうまでもなく、「発達障害＝ズレやすい」ではありませんし、「ズレやすい＝発達障害」でもありません。また、発達障害の特性も人によってさまざまです。この点には十分注意が必要ですが、発達障害について理解することが、職場でのトラブルを減らす一つのきっかけとなるかもしれません。

障害者手帳の有無や診断の有無にかかわらず、「一人でも多くの人が、その人らしく働ける社会」に向けて、ともに知恵を絞っていきましょう。

(文 ユニベルシタスつくば代表幹事 徳田太郎さん)

【数に込められた 思いと意味】

5

これぞ「和」

k2マネジメント代表取締役 葛田 一雄

日本が日本であり続けるために伝承しなければならない古からのしきたりや年中行事がある。和風は日本風、和様は日本に古くからある独特の様式をいう。現代の流儀のことを現代風とか今風、これに対して、昔ながらの習慣や流儀のことを昔風あるいは古風という。日本の文化や文明は中国あるいは西洋から伝わったことも多く、中国の様式のことを唐様、中国の風俗や制度に似ていることを唐風という。西洋の様式を備えていることを洋風、ヨーロッパの様式のことを欧風である。

習俗は、習慣や風俗のことである。習慣は、しきたりあるいは日常の決まりきった行いである。風俗は、その時代や地域の特徴づける生活上のしきたりである。

1. 「四」のしきたり

(1) 四季の色と味

四季には色と味がある。四季に相応しい色、四季に合致した味がある。

春 夏 秋 冬
色……青春 朱夏 白秋 玄冬
味……苦味 酸味 滋味 甘味

(2) 四君子

そもそも君子とは、高い身分の人、あるいは人格が立派な人

をいう。士君子という土と君であり、徳行高く学問に通達した人のことをいう。四君子は梅・竹・蘭・菊の異称である。よく、寿司屋などではお決まりの値段の高い順番に松、竹、梅となっているが、松は四君子ではないから、老舗では値段が高い順に梅、竹、松となっているところもある。

(3) 四方位と守護神

四方位とは東西南北のことである。四方位にはそれぞれ守護神がついている。守護神は国家、民族、家族、親族、個人、職業または寺院などを守護する神である。五行説によると、東は青龍、西は白虎、南は朱雀、北は玄武である。青龍は青色の竜をいい、東方に配する守護神である。中国古来の哲理にいう天地の間で循環流行して渾息しない木・火・土・金・水の五つの元気である。白虎は西方に配する守護神である。朱雀は南方に配する守護神である。玄武は北に配する守護神である。水の神で亀に蛇の巻きついた姿を表している。

2. 「三」のしきたり

(1) 三磨き

水を磨く、米を磨く、腕を磨く。酒造りの秘伝のことである。

酒造りには秘伝があるが、総じていうと酒の合う水、精米した白米、職人の腕次第ということから三磨きという。宮水というと兵庫県西宮市の海岸に近い浅井戸から湧出する水をいい、江戸後期以降、灘酒の醸造に用いられてきた。腕とは腕前のことであり、技量や技術などをいう。

(2) 三首を洗う

三首とは、首、手首、足首をいう。着物を着るときに首と手首と足首を洗ってから着なさいという教えである。着物に汚れが付かないように、あらかじめ汚れている箇所を洗ってから着るという知恵でもある。

3. 「2」のしきたり

陰気は性格が快活でないさまをいい、陽気は気分が明るく楽しいことを意味する。陰は日かげ、日光の当たらないところであり、陽は日の向かっている方あるいは日の当たっている側である。

(1) 阿吽

呼気と吸気のことでもあるが、最初と最後あるいは万物の初めと終わりのことである。阿は口を開いて発する音声で字音の初め、吽は口を閉じる時の音声で字音の終わりである。よく阿吽の呼吸というが、共に一つ

のことをする時などの相互の微妙な調子や気持ちのことをいい、特に、それが一致することをいう。密教では、阿を万物の根源、吽を一切が帰結する智徳としている。

(2) 陽と陰

陽と陰は、男性と女性、上と下、表と裏、白と黒、明と暗、太陽と月に例えられる。易学では、陰と陽は天地の二元气をいう。陽は天、男、君、日、昼、動、剛、奇数などである。すべて積極的、能動的な事物の性格を表す。陽に対して、陰は地、女、月、静、柔、偶数など消極的、受動的な事物の性質を表す。

4. 「1」のしきたり

(1) 和の数え方

和の数え方は、対象によって異なる。数え方を知ることによって、これぞ「和」を感じることができる。

あ	アイロン	一挺
い	烏賊(蛸)	一杯 一本
う	植木	一株
え	海老	一匹 一折
お	帯	一条 一本 一筋
か	鏡	一面
き	機械	一台 一基
く	櫛	一枚 一本
け	下駄	一足 片足
こ	洋傘	一本 一張
さ	笹蕎麦	一枚
し	証書	一枚 一通
す	硯	一面
せ	背広	一着 一揃
そ	素麺	一把 一杯 一箱
た	田	一面 一枚
ち	注文書	一通 一本
つ	机	一脚 一前
て	手紙	一本 一通 一封 一札
と	豆腐	一丁

な	納豆	一本 一皿
に	荷物	一荷 一駄 一梱 一梱包
ぬ	布	一メートル 一ヤール 一反 一疋
ね	ネクタイ	一本 一掛
の	海苔	一枚 一帖(十枚) 一罐
は	箸	一揃 一具 一膳 一本 一束
ひ	ピアノ	一台
ふ	葡萄	一粒 一房
へ	部屋	一間 一室
ほ	包丁	一丁 一柄 一本
ま	巻物	一卷 一軸 一端(布) 一本
み	蜜柑	一箱 一個
む	虫	一匹
め	飯	一杯 一膳 一人前
も	毛布	一枚
や	夜具	一枚 一組 一重
ゆ	優勝旗	一本 一旛
よ	羊羹	一棹 一本 一切れ 一箱
ら	薙	一粒 一瓶 一壺
り	履歴書	一通 一枚
れ	蓮根	一本 一節
ろ	鱸	一挺 一本
わ	和歌	一首

(2) 一・壺

一あるいは壺は、自然界の最初の数である。壺は「一」の大字である。一位は、植物の「イチイ」をいう。一位の位に因み命名された。イチイ科の常緑高木であり、幹は直立して、約15メートルに達する。樹皮は赤褐色、3月から4月頃の開花し、実は9月頃に熟する。飛騨国位山産のものは笏の材料となった。笏は、束帯着用の際、右手に持って威儀を整えた板片である。

(3) 「一」の四文字熟語

一意直到…思ったままを飾らずに表す。
一飲一啄…啄は、ついでむと云う意味がある。多くを求めず、ありのままを受け入れ自由に生きること。
一韻到底…始めから終わりまで同一の韻で通すことを言う。
一栄一落…草木が春には花咲き、秋には落葉することから、人の栄え、または衰えることをいう。
一円知行…単独で完全に所領を支配したことをいう。
一金二男…遊興に大切なものは第一に金、男ぶりは第二である。
一意専心…他の心に向けず、その事だけに心を用いること。
一衣帯水…一筋の帯のような狭い川、海。
一行三昧…一つの行業を専心に行う行法をいう。
一言居士…何事も自分の意見を一言しなければ気のすまない性質の人。
一期一会…一生の一度限りであること。
一石日和…降るか降らぬかわからない天気。
一期末代…死後も末代まで永久に。
一言一句…ひとことひとこと。
一言半句…わずかな言葉。
一言芳恩…一言を賜った恩に感じて主と仰ぐこと。
一日三秋…一日千秋に同じ、待ち遠しいこと。
一汁一菜…粗食のたとえ。
一罰百戒…一人を罰して、多くも人の戒めとすること。

セミナー名	日 時	テーマ・内容	講 師	会 場
第13期 マネジメント マスターコース	③9月19日(金) ④10月9日(木)	アイエスエフネットグループに 学び、自社に活かす ③アイエスエフネットグループ の現地視察 ④アイエスエフネットグループ からの学びを自社に活かす ワークショップ	③コーディネータ 鬼澤 慎人氏 ④NPO法人日本ファシ リテーション協会前 会長 徳田 太郎氏	アイエスフネット 水戸プラザホテル
営業社員 セミナー	①8月19日(火) ②8月26日(火) 9:30～16:30 全講 14,000円 単講 8,000円	①アポイントから成約までのポ イント、アフターフォロー ②新規開拓営業の極意	浦上 俊司氏	水戸プラザホテル
経営研究会	9月2日(火) 15:00～16:50 2,000円	ほめる達人への道 ～ほめる組織は業績を伸ばす～	(有)C's代表取締役 西村 貴好氏	結城市民情報 センター
新任管理者研修	①9月4日(木) ②9月11日(木) ③9月24日(水) ④10月2日(木) 13:30～17:00 全講 24,000円 単講 8,000円	①リーダーシップ ②部下育成 ③心理学に基づくコミュニケー ションスキル ④職場におけるハラスメント問 題とメンタルヘルス対応	①、② (株)エトス代表取締役 門田 由貴子氏 ③、④ 社会保険労務士法人葵 経営代表 皆川 雅彦氏	L'AUBE(ローブ) Kasumigaaura
第4回ヒューマ ンエラー防止セ ミナー	10月15日(水) 9:30～17:00 7,000円	錯覚や行動を把握し、重大事故 を防ぐポイント	関西大学社会安全学部 社会安全研究科教授 中村 隆宏氏	三の丸ホテル
経理セミナー (基礎編)	11月7日(金) 9:00～16:30 8,000円	わかりやすい！経理の基礎講座	木村税理会計事務所所長 木村 聡子氏	水戸京成ホテル
経理セミナー (応用編)	11月20日(木) 9:00～16:30 8,000円	簡単にわかる！決算書の見方・ 読み方	財務リスク研究所(株) 代表取締役 横山 悟一氏	水戸京成ホテル

問合せ 一般社団法人 茨城県経営者協会
〒310-0801 水戸市桜川2丁目2番35号 茨城県産業会館11階
TEL 029-221-5301 FAX 029-224-1109
ホームページ <http://www.ikk.or.jp> Eメール info@ikk.or.jp

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、


未来に向かって力強く前進いたします。



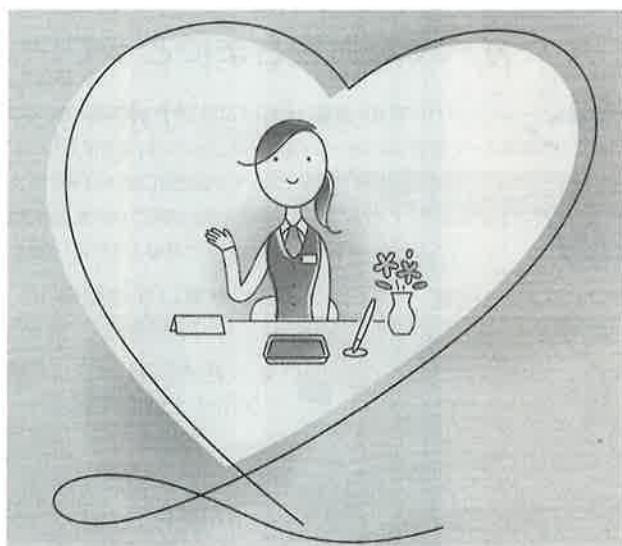
筑波銀行は地域復興支援プロジェクト『あゆみ』に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank

人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



就職MAP 茨城版

Job Research Map

For
新卒者
採用

For
キャリア
採用

For
パート、
アルバイト
採用

採用支援サイト

【就職MAP】リニューアルオープン

<http://www.shumap.jp/>

- ①求人情報をキレイ、自由、簡単に掲載します。
- ②煩雑な操作は必要ありません。
- ③無料です。（経営者協会会員に限ります）

求人情報の掲載は、
茨城県経営者協会「就職MAP」担当（後藤）まで
TEL 029-221-5301
FAX 029-224-1109
E-mail info@ikk.or.jp